

いきいき
まえばし人



学生設計コンペで最優秀賞
小松 剛之さん・23歳
六供町

広い視野で物づくりを

群馬建築士会主催の第4回学生設計コンペで最優秀賞に選ばれた。昨年「受賞できて、大変光栄です。昨年は、卒業設計などで忙しい日々でした。午前3時、4時まで学校にいたこともありましたが、あまり良い結果が出ませんでした。ことは、生活を朝型に切り替え、集中力をアップ。そんなことも成果に結びついたのかなと思います」

コンペの課題は、子ども世代が独立した後の生活のあり方を考える「市街地における終の棲家」。老夫婦の家に学生寮を併設し、世代を越えて生活する住まいを設計した。独立して生活する部分と交流する部分をバランスよく配置したことが大きな評価を得た。

建築の道を志したのは、中学生のとき。物を作ることが好きだったこととみんなに自分のアイデアを伝えることが好きだったために、目に見える建築を選んだという。

現在、前橋工科大学の1年生。少し前までは大きな建物の設計をしたいと考えていたが、今は、建築を軸として、さまざまな物をデザインできるようにになりたいと語る。趣味は旅行と料理。

「旅先では無意識に建物や物の形に目がいきます。今はすべてが勉強と考えています」

土日曜でも、学校で作業。また、所属する研究室では、先生や仲間と建築やデザインを議論し、充実した日々を送っている。輝くセンスを生み出してもらいたい。

クローズアップ



本市産農畜産物に長い列

11月7日、中心市街地で秋穫楽市を開催。本市産の新鮮な農畜産物や豚肉料理、名産品などが販売され、多くの人でにぎわいました。また、tonton汁や牛肉、牛乳の無料配布も行われ、おいしい収穫の秋を満喫しました。



受け継がれる伝統を披露

学校文化活動に触れる

11月20日、市民文化会館大胡分館で郷土芸能大会が行われました。ことしも、下長磯操翁式三番叟などの6つの伝統芸能を披露。豊かな自然と歴史の中で培われた幻想的な舞が観客を魅了しました。



前橋プラザ元氣21で11月14日、まえばし学校フェスタ2010を開催しました。絵画・書道作品や各種事業紹介パネルを展示。茶道のお点前や吹奏楽の演奏なども行われ、日ごろの学校文化活動に触れた1日となりました。



日本一古い木馬

日本一懐かしい遊園地の木馬
国登録有形文化財 中央児童遊園(るなばあくもくば館)

本市民ならば誰でも知っているるなばあくもくば館。しかし、その由来を知る人は少ないようです。

昭和29年に開催された市制施行60周年記念大前橋グランド・フェアー。その時のメイン会場であった前橋公園には野外ステージのほか、鉄道館や電力館などのパビリオンとともに「子供の国」が設けられました。そこに設置された白と栗毛の2頭の電動木馬こそが現在のもくば館の前身です。この時、飛行塔や観覧車などの大型遊具が現在のるなばあくの場所に設置さ

れ、それらが引き継がれて中央児童遊園として開園しました。それと合わせ、前橋公園にあった2頭と新たに3頭を加えた5頭が同園に場所を移し、もくば館としてオープン。木造平屋建ての建物も開園当初からの物です。

木馬は鉄製で高さ80センチほど。料金は開園当初のままの10円。お金を入れると1分半ほど上下に音をたてながら、ゆっくりと揺れ動きまわります。今でもその人気は衰えず、3世代にわたって子どもたちを楽しませていきます。市民の遊園地デビューの記念写真はほとんどがこの木馬なのではないでしょうか。

今までに500万人以上の子どものたちがこの木馬にまたがり、思い出の1ページを刻んでいます。

日本一古い現役の木馬として平成19年に国有形文化財として登録を受けたこの木馬たち。これからは大人たちのノスタルジックな思い出とともに、子どもたちの夢を乗せて動き続けてほしいものです。

いにしえ
万華鏡

その二十一

問い合わせは 文化財保護課 ☎231-9531